

株式会社モリタ製作所

本社

この企業の製品と繋がる履修科目

【機械系科目】

機械力学

>>>

繋がる理由

歯科、耳鼻科、眼科用医療機器は、多くの可動部品で構成されています。そのため、直線運動、旋回運動を考慮したり、手術中に自由に移動できる構造を実現するための設計が求められます。このような設計要件を実現するために機械力学で学んだ基礎知識が役立ちます。

機械材料学

>>>

繋がる理由

歯科、耳鼻科、眼科用医療機器は、軽量化も重要な製品品質のひとつです。製品設計では樹脂素材も含めた最適な材料選定が求められます。このような医療機器を構成する部品に必要なとされる要件を備えた材料を選定するのに機械材料学で学んだ基礎知識が役立ちます。

機械設計

>>>

繋がる理由

歯科、耳鼻科、眼科用医療機器は、人にやさしい材料メディカルポリマーに関する知見や、診療に携わる全ての人へ安全を担保する製品設計が求められます。このような様々な要件を適切なバランスを保ちながら製品設計を行う上で機械設計で学んだ基礎知識が役立ちます。

【電気系科目】

電気工学

>>>

繋がる理由

歯科、耳鼻科、眼科用医療機器は、患者さんの状態を測定し、その結果を表示する製品があります。測定デバイスとしてカメラ、X線などが使用され、表示デバイスはモニターが使われています。これらのデバイスを使用した電気回路設計が必要になります。これらの製品設計要件に電気工学で学んだ電気回路の基礎知識が役立ちます。

電子工学

>>>

繋がる理由

歯科、耳鼻科、眼科用医療機器に、患者さんの状態を測定し、その結果を表示する製品があります。測定デバイスとしてカメラ、X線などが使用され、表示デバイスはモニターが使われています。測定デバイスのデジタル信号の入力を元に、表示デバイスへ測定情報を反映する制御が行われています。このような半導体を使用した回路設計や信号処理が求められます。これらの製品設計要件に電子工学で学んだ基礎知識が役立ちます。

【情報系科目】

医工学

》》》

繋がる理由

歯科、耳鼻科、眼科用医療機器は、患者さんや診療に携わる全ての人へ安全を担保し、製品として適切な効果が得られることを保証した製品設計が求められます。これらの製品設計要件に医工学で学んだ基礎知識が役立ちます。

人間工学

》》》

繋がる理由

歯科、耳鼻科、眼科用医療機器は、使用者が自然な動きで効率的に動けるような製品設計が求められます。また、株式会社モリタ製作所の製品は過去の受賞履歴からわかるようにデザイン性にも大きな拘りがあります。働きやすい環境の実現と安全で使いやすい製品を設計する上で、人間工学で学んだ基礎知識が役立ちます。

この企業のポイント

- 積極的な若手社員には責任ある仕事をどんどん任せていくのが当社の風土。
- ものづくりが大好きで、チャレンジ精神の溢れる若手社員が多数活躍。

製品はここで使われています！

歯科医療機器メーカーの洗練されたデザインと、細部までのこだわり、機能性だけでなく、患者さんの快適性や医師とのコミュニケーションにまで配慮した製品で「人にやさしい診療空間」を創造し続けています。100年の伝統と最先端技術を駆使し、【人に優しい独創的なものづくり】を信念に、世の中に“世界初”“業界初”の製品を数多く送りだしています。例えば、患者さんが水平に寝て先生が座って治療するという治療スタイル。これも実は私たちが世界ではじめて生み出したもの。近年では歯を削らなくても虫歯の治療ができるレーザー装置や、患者さんの負担も少ない3Dレントゲン撮影装置など、より良い診療環境を提供できる製品を開発いたしました。健康で笑顔溢れる人生を。これからも【モリタ製作所だからできるものづくり】を進化させ続けます。